

呼吸器疾患患者の手術実施前後の口腔内状況の調査の情報公開について

近年、全身麻酔下での外科手術に伴う術後肺炎の予防あるいは重症化の予防には、口腔ケアを中心とした早期からの歯科介入が有効であることが広く認識されてきています。このような背景から、岩手医科大学附属病院では、平成29年より、手術をうける呼吸器疾患の患者様には、手術前後に岩手医科大学附属病院の歯科（令和元年9月19日までは旧岩手医科大学附属病院歯科医療センター口腔ケア外来、同年9月24日以降は岩手医科大学附属病院 歯科）を受診して頂き、歯科医師・歯科衛生による口腔内管理を行っています。今回、全身麻酔下で手術実施予定の呼吸器疾患の患者様に対しての周術期口腔管理の必要性について検討を行うことを目的として、手術前後の口腔内状況の調査を以下のように行っています。

なお、この研究は岩手医科大学歯学部倫理委員会の承認を得て行っています。（承認番号：01323）

1. 研究課題「呼吸器疾患患者の口腔内状況と術後肺炎の関連に関する調査」

2. 目的

手術前後の呼吸器疾患の方の口腔内の状態を把握し、治療前後の口腔管理の必要性を検討することを目的としています。

3. 方法

平成28年10月17日から平成29年10月16日までの1年間に岩手医科大学附属病院呼吸器外科の手術後ICUで治療を受けた呼吸器疾患の患者様、および平成29年10月17日から令和3年10月16日までに本学呼吸器外科より口腔管理依頼があり、歯科受診された方の診療録から年齢、性別、居住地、口腔内状況（現在歯数、未処置歯数、喪失歯数、歯周組織の状態、口腔清掃状態）、喫煙歴、かかりつけ歯科医の有無などの情報を抽出します。口腔内状況については、全国調査と比較、検討を行います。

4. 研究期間

得られたデータの分析などは、平成29年8月から令和4年12月末まで継続する予定です。

5. 個人情報の保護

個人が特定できないようにデータは匿名化し、セキュリティ管理されたパソコン上で限られた者だけが扱います。研究機関終了後、印刷物はシュレッダーで裁断して破棄します。デジタルデータについてはセキュリティ管理された記録媒体に保管します。

6. 研究成果の公開

公開時には個人のデータは用いません。集団のデータとしてとりまとめたものだけを公表します。

7. データ利用の拒否について

ご自身またはご家族等が、過去の診療データを研究に使用してほしくないと思われる場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。データの利用拒否を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

問合せ先

大石 泰子（岩手医科大学歯学部口腔医学講座予防歯科学分野助教）

岩手医科大学附属 内丸メディカルセンター 歯科医療センター 口腔ケア・口臭外来

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19番1号

TEL: 019-613-6111 内線（4131）